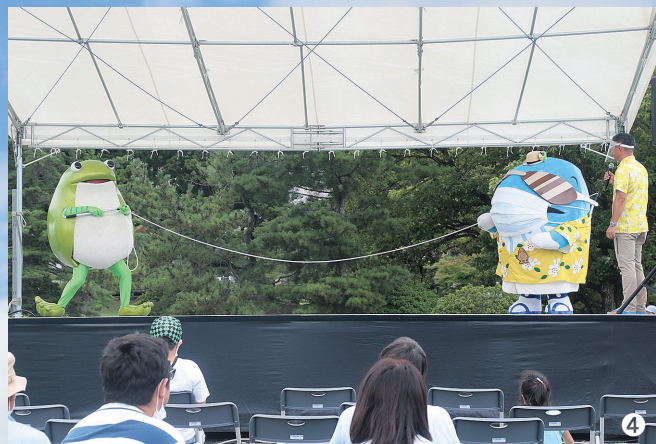


# 平泉世界遺産祭

## 2020

①雨の中会場に響き渡る山王太鼓の迫力ある演奏／②平泉、長島の両小学校が取り組む世界遺産学習・地域学習について発表する長島小学校の児童たち／③東京都小笠原村の案内ブースで塗り絵体験をする子どもたち



④ケロ平とおがじろうによるゆるキャラ綱引き対決／⑤宮城県涌谷町の案内コーナーで砂金取り体験をする子どもたち／⑥郷土芸能体験講座を受講する小中高生が達谷窟昆沙門神楽を披露



9月5日、6日に観自在王院跡の特設会場で「平泉世界遺産祭2020」を平泉町、一関市、奥州市の3市町と県、観光工商団体で組織する世界遺産連携推進実行委員会が開催しました。

コロナ禍で最初の大きなイベントとなった今回のイベントでは、新型コロナウイルス感染症の防止対策として、入口を2カ所に制限し、サーマルカメラによる検温を実施。また会場内へ消毒液を配置し、マスクを配布しました。

会場では、「ご当地グルメコーナー」や世界文化遺産の紹介コーナーが設けられたほか、特設ステージでは郷土芸能の発表やミニライブが行われました。青空が次第に見え始めると会場は多くの来場者でにぎわいました。